



JAとよころ広報誌

夏

産業まつり青年部 かたぬぎの様子

2022.10

vol.216



か が や き

3年ぶりの

とよころ産業まつりを開催!!

豊頃町産の
食材を使用した
カーリーフェスも開催

大地に恵まれたまちの産物を観て、食べて、遊んで、豊頃の一日を楽しむ秋の風物詩「海と大地の祭典とよころ産業まつり2022」（主催：とよころ産業まつり実行委員会）を10月1日に豊頃町農協多目的広場及び豊頃町農業農村サポート施設前駐車場にて開催しました。

女性部は町内産の原料を用い、数日前から丹精込めて作った伝統のいも団子とかぼちゃ団子、小豆からコトコト煮込んだいも・かぼちゃのミニ団子入りぜんざい、こだわりの二度揚げ皮つきフライドポテトをたくさんのお客さんに振る舞い、大変好評でした。

青年部の乳製品販売は豊頃町酪農振興会協賛のもと、たくさんのお客さんに購入いただきました。また、今年は日本ニューホランド株式会社にご協力いただき、トラクターを展示しました。大変好評で、たくさんの方が楽しんだ様子でした。

恒例の秋鮭つかみ取りには今年も多くの参加希望者がエントリーし、抽選により参加者が全身水浸しになりながら秋鮭を追いかけてました。

今年は、豊頃町の食材を使用したカーリーフェスを実施しました。8店舗がカレーを出品し、早々に売り切れた店舗もありとても好評でした。

ステージは艶遊会・童遊会によるとよころ太鼓、豊頃町中学校吹奏楽部・和光憂人さん・長尾崇人さんによるコラボレーション演奏会、津軽三味線石黒会（石黒みゆきさん）による演奏、「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」によるキャラクターショーを2回開催し、会場は大いに盛り上がりしました。

当日は晴天に恵まれ、たくさんの来場者の方に当農協の特産品や旬の農産物とその加工品を楽しんでいただけました。



〈青年部〉
トラクタ展示



〈青年部〉 乳製品の販売



〈女性部〉 ぜんざいの販売



〈女性部〉 かぼちゃだんごの調理



〈女性部〉 フライドポテトの販売



〈青年部〉 ポテチとじゃがりこのユニフォーム
(左: 武内創産産部会長、右: 川口紘畑作部会長)

新規就農者激励会・懇親会

7月21日、令和4年度の新規就農者7名のうち6名が参加した激励会は、豊頃町サポートセンターにて山口組合長より激励状の贈呈と当組合の概要説明を行いました。また会中には菅原副町長より町長の激励の挨拶を頂戴しました。

激励会終了後はワイズハウスにて、新規就農者を囲み青年部・女性部の役員と焼肉懇親会を行いました。会

は高橋智紀青年部長の華々しい乾杯でスタートし、青年部・女性部の活動や営農など歓談をして楽しみました。最後に田頭綾子女性部長より「趣味がない方は何か趣味を見つけるといいと思います。趣味があるあと息抜きもできるし、いろいろな人との交流のきっかけにもなります。皆さんも今後つらいことなどがあったときは趣味で息抜きになり、趣味を通して知り合った人たちと交流することで気持ちが晴れると思います。」と締めめの挨拶で会を終えました。皆さんその言葉に深く感心した様子でした。



~~~~~

## カルビー講習会

8月19日、加工馬鈴薯生産組合（原田二次雄組合長）主催による青空教室を川口修さん（十弗西地区）の圃場で、また、選別講習会をカルビーポテト株式会社豊頃支所で行いました。

当日の天候は曇天のため肌寒い中でしたが、カルビーポテト株式会社の津山睦生氏による「キタヒメの特性」、同社平田明子氏による「規格品・圃場選別での基準確認」について研修を行いました。研修会には19名が参加し、今後の圃場選別等熱心に勉強しました。



町内の保育所  
小・中学校に

# よつ葉乳業製品寄贈

昨年に引き続き、消費が落ち込む牛乳・乳製品の消費を促すため、ヨーグルトを茂岩保育所（110個）、大津保育所（15個）に合計125個、アイスクリームを豊頃小学校（111個）、大津小学校（19個）、豊頃中学校（86個）に合計216個、ヨーグルトやアイスクリーム、牛乳など各種乳製品を福祉施設に260個を寄贈しました。

保育所は年長生、各小・中学校は児童代表、福祉施設は理事長に川口専務より贈呈し、皆さんとても嬉しそうな様子でした。担当の畜産部職員のコメント

例年通り、消費拡大事業として牛乳・乳製品を広く普及するため寄贈しました。乳製品を寄贈する際に皆さんが大変喜ばれていたのも、これを機に多くの皆様が乳製品を多く消費出来たら嬉しいです。（尾形原野）



## 「ふるさと給食」食材提供 第2弾 ～ 食育支援と地産地消 ～

8月26日、大津小学校にて川口修専務理事が食育訪問を行いました。前号で紹介した豊頃小学校食育訪問の第2弾です。給食を食べる前に授業を行い、川口専務は「勉強やスポーツをするときに大切なのは健康であることです。そのためには、子どもの頃から地元でとれたものをバランスよく食べることが大切です。皆さん地元の食材を食べてバランスよく成長してください。」とお話ししました。子どもたちはとても真剣な眼差しでした。

今回のメニューは豚キムチ丼、切干大根入りナムル、みそ汁、牛乳でした。みんな「おいしい!」、「切干の歯ごたえがいい!」など、とてもおいしそうに食べました。





## パークゴルフ大会・懇親会を開催

生甲斐部

7月19日、茂岩山パークゴルフ場に部員15名が参加し、4組に分かれて全2コース、18ホールをプレーしました。冒頭、加藤敏部長は「久しぶりにイベントを開催できうれしく思う。雨も止み、曇り空ではあるが気温も湿度も高いので、こまめに水分をとりながら、プレーを楽しみましょう。」と挨拶しました。

また、競技後は2年ぶりに焼肉懇親会を開催し、部員のみなさんと事務局の職員は久々の親睦を楽しみました。懇親会中は青空が広がり、日差しが気持ちよく、ビールもすすみます。「この調子で秋季の道内研修旅行も開催したいね。」と温泉旅館の宿泊や視察先について話がはずみました。

### 【競技結果】

※同点は年功順

|      |               |         |
|------|---------------|---------|
| 優勝：  | 神谷 秀秋 さん（北栄）  | スコア 54打 |
| 準優勝： | 高橋 正市 さん（豊頃）  | スコア 56打 |
| 第3位： | 岡 光豊 治 さん（十弗） | スコア 57打 |
| 第4位： | 舘 盛保 さん（北栄）   | スコア 57打 |
| 第5位： | 平井 昭徳 さん（十弗）  | スコア 60打 |



## 青年部&豊頃小学校 食育授業第2回を実施！ 第3回の食育授業（収穫作業）は…

エネルギー  
青年部  
JA YOUTH

第1回目食育授業（5月）に引き続き、第2回目（7月）は5月にたくさん蒔いた人参の間引き作業、トマトときゅうりの収穫を実施しました。人参の間引きでは「見てー、もうこれ食べられるかな？」「小さくてかわいい」など興味しんしんで作業を楽しみました。その後トマトときゅうりを収穫し、とれたて野菜をみんなで食べました。「トマト甘くておいしい」「きゅうりみずみずしくておいしい」と大絶賛でした。

第3回目（9月）は待ちに待った収穫作業！と思いきや…。豊頃町への爆破予告により中止を余儀なくされました。収穫できなかった野菜たちは青年部で収穫し、後日小学校へ運びました。

みんなおいしく食べることができたかな？いろいろありましたが、2回の授業の中で部員も小学生も農作業を楽しみました。



# 新入職員研修2022

今年も新入職員研修を実施しました！

新入職員4人が2つのグループに分かれ、畑作・酪農研修を行いました。畑作は川口専務理事・井村康広理事、酪農は相澤博美理事・吉田孝理事のお宅でお世話になりました。新入職員4名の感想を聞きました。



畜産部 畜産課 畜産係

大 久 保 樹



畑作研修では大根の植え、酪農研修では搾乳、餌やりなどを行いました。私にとって経験したこと全てが初めてであったため、分からないことが多々あり苦戦することもありましたが、一から丁寧に教えていただいたので最後までスムーズに作業をすることが出来ました。また、実際に研修をすることで、自分が想像していた畑作・酪農の仕事よりも遥かに大変なものであると身に染みて分かりました。そして、この研修で培った多くの経験、知識を今後の仕事にも生かしていきたいと思います。

最後に、このような仕事を毎日行っている農家さんに日々感謝するとともに、農協職員として農家さんのため少しでも力になっていければと思います。今回、お忙しい中研修を受け入れて下さった川口専務、吉田理事、本当にありがとうございました。

農産部 農産課 販売施設係

田 中 仁 稀



酪農研修では搾乳作業を行いました。初めて牛に触れましたが、ご家族や従業員の皆さんに優しく丁寧に教えていただいたので充実した研修を行うことができました。

畑作研修では大根の播種を行いました。大根の播種機の後ろを歩き、種が真ん中に落ちているかを確認しました。川口専務から機械の扱い方など親切丁寧に教えていただき、スムーズに作業を行うことができました。また畑を往復する大変さを身をもって知ることができました。

酪農研修と畑作研修を通して、実際に牛舎や畑に行き体験させて頂いたことで、普段どのような作業を行っているか知ることができました。改めて大変さを知ることができ、日々作業されている農家や酪農家の方々への感謝を忘れてはいけなかったと思います。今回研修で学んだことを仕事に生かしていきたいと思います。またお忙しい中、研修を受け入れて下さった川口専務、相澤理事、そのご家族の皆様へ心より感謝申し上げます。



畜産部 畜産課 畜産振興係

尾 形 原 野



酪農研修では搾乳を行いました。牛との関わる機会が少ないことから、とても緊張していましたが大人しく動いてくれたのでスムーズに作業を行うことができました。搾乳の際は、機械を使い効率よく多くの牛の搾乳をしていました。そのため、絶え間なく牛が搾乳場所に入るのが気が抜けることなく常に集中して作業に取り組む必要がありました。牛を搾乳場所に追い込む際には、牛をどのようにして追い込めばいいのかわからないことから見様見真似で作業を行っていたため不安でした。しかし、相澤理事だけでなく周りの方からも親切に教えて下さり充実した研修を行うことができました。

畑作研修ではビートの補植作業を行いました。研修日の前日まで、雨や風・鹿などによって育つことができないビートが多くあったことから4人で作業を行っても時間と手間がかかる作業でした。ビートがこれから育つかどうか判断しにくく、難しい作業でした。雨が降らないことから、昨年よりもビートの生育はよくないとい、畑作は天候により影響が激しいものだと深く理解することができました。井村理事とたくさんお話しすることができ、充実した研修でした。

酪農研修と畑作研修を通して、農業を実際に体感でき農業をより深く理解することができました。この経験を無駄にせず職員として成長につなげていきたいと思っています。一人前の職員になれるように努力を重ね日々を過ごしていきたいと考えます。今回お世話になった相澤理事と井村理事そしてご家族の皆様には、心より感謝申し上げます。

農産部 農産課 販売施設係

伊 藤 花 恋



畑作研修ではビートの補植を行いました。最初は自分に出来るか不安でしたが、大きな畑で作業することは初めてだったので楽しくかったです。皆さん優しく明るい方々なのでたくさんお話や質問をする事ができ、勉強になる2日間を過ごしました。暑すぎず丁度いい気温だったので、畑を往復するとすごく暑く感じたので、真夏の作業はもっと体力を使い、大変であることを身をもって感じました。

酪農研修では搾乳と餌やりなどを行いました。牛は基本的におとなしい性格だと聞いたことがあったので恐怖心はありませんでしたが、搾乳の際に牛に蹴られてからは近づくのが少し怖かったです。今まで牛は全く関わった事が無い動物だったので、牛の餌には何個か種類があることや誘導すれば自分で牛舎に戻っていくことなど他にもたくさんの事を知ることができて良かったです。

この計4日間を通して実際に体験する事で大変さ、やりがいを感じることが出来ました。また、今回学んだことを今後の業務に活かして少しでも組合員の皆様のお役に立てるように頑張ります。お忙しい中研修を受け入れて下さった井村理事、吉田理事そしてそのご家族の皆様本当にありがとうございました。





第12回全国和牛能力共進会が10月6日～10日までの5日間にわたり鹿児島県で開催しました。全国和牛能力共進会とは、5年に1度開催し「和牛オリンピック」とも称され、全国から優秀な和牛を集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会です。

今回は、全国各地から選抜した438頭が出品し、繁殖能力と産肉能力を評価する種牛の部と産肉能力を評価する肉牛の部で資質を競い合いました。北海道からはすべての区に22頭を出品しました。第6区総合評価群における代表牛4頭のうち、本町から株式会社 武隈ブリーディングファーム（代表取締役：武隈英和）所有の「かつよ3」号と篠島太郎さん所有の「はるき」号の2頭が8月10日開催の北海道選抜会より選出し、北海道代表として全国和牛能力共進会へ出品しました。

第6区総合評価群は同一種雄牛による4頭の種牛群（若雌）と3頭の肉用牛を1群とし、自道府県内で生産した両親の産子です。その種牛群と肉牛群の成績を総合して順位を決定します。

【結果発表】第6区は15道府県が出品し、種牛群が8位、肉牛群が6位で総合成績は優等賞8席の成績を納めました。第4区、5区はそれぞれ過去最高の優等賞3席の成績を納めました。

#### 北海道の出品団団長を務めた武隈英和代表に鹿児島全共を振り返っていただきました

今回の鹿児島全共は、十勝が一丸となり「チーム十勝」を掲げ、3年前に計画交配から取り組みました。コロナ禍ということもあり例年とは違う難しさもありましたが、北海道選抜会において十勝として過去最多の出品頭数を勝ち取ることができました。その分責任と不安、プレッシャーがありました。

今回の全共における北海道としての目標は、優等賞3席以内に入ることでした。どのように取り組みを行うか、毛刈りや調教などをホクレン市場で出品牛を集畜し、出品者と各関係者でたくさん議論を重ねました。最終的に種牛の部では全区で優等賞を獲得し、第4区、5区では優等賞3席を獲得できました。目標を達成できたことは大きな成果だと思います。

また、牛と共に「人づくり」をテーマに掲げており、若手の育成、地域間の生産者や関係者との繋がりを大切にしていきたいと思い、様々な取り組みを行う中で、全共では全道各地から総勢150人程度の人に牛の



管理や環境づくり、その他の事に携わってもらいました。感謝と共に人をまとめる難しさや達成感等たくさんの経験をさせてもらい改めて「人づくり」の大切さを感じました。

全体を通して、目標の達成等充実した部分はありますが、一つの区切りとして出品して満足ではなく、今回の課題を活かし、5年後の北海道全共に向けてスタートしていきたいと思っています。

最後になりますが、今回の全共に対したくさんの方々に携わっていただき感謝を申し上げますとともに、5年後の北海道全共に向けて頑張っていきたいと思っています。





## 十勝総合畜産共進会（肉用牛）および 北海道肉用牛共進会に豊頃町より出品！

7月19日～20日、十勝農協連家畜共進会（音更町）にて第51回十勝総合家畜共進会（肉用牛）を開催しました。結果は以下の通りです。

### ①第18部（11ヶ月以上14ヶ月未満）

2等賞1席 篠島 太郎 「るる」（勝早桜5－百合茂－安福久）

### ②第20部（14ヶ月以上17ヶ月未満）

1等賞1席 株式会社 武隈ブリーディングファーム 「みどり3」（美津照重－白鵬85の3－安福久）

※18－20部若雌1の最高位および全体の準最高位受賞

### ③第21部（17ヶ月以上20ヶ月未満）

2等賞1席 愛澤 利 憲 「まお」（美津照重－華春福－百合茂）

株式会社 武隈ブリーディングファーム出品の「みどり3」号は9月9日・10日に安平町で開催の第32回北海道肉用牛共進会に出品しました。結果は以下の通りです。

### 第3部（14ヶ月以上17ヶ月未満）

1等賞2席 株式会社 武隈ブリーディングファーム  
「みどり3」（美津照重－白鵬85の3－安福久）

日々の管理作業等の成果により各大会において優秀な成績を納めることができました。





女性部の窓

# すみれ部会 花壇整備



7月・8月・9月は花壇の草取り作業を行いました。雨のせいか7月の花壇には雑草が多い状態でしたが、皆さん手際よく、あっという間に作業が完了しました。10月は片付け作業を行い、今年の花壇は見納めとなりました。作業終了後はベンチに座って休憩。お菓子を食べながら和気あ



いあいとお話しました。「今年も元気に咲いて良かったね」「片付けるのもったいない」と少し悲しそうでした。

また来年のきれいな花壇をお楽しみに。



# ハロウィン2022 ~青年部で カボチャを設置~

10月中旬、今年も青年部で育てたハロウィンカボチャを飾り付けし、町内の保育所と小学校に設置しました。

今年度は天候の影響もあり、大きさ、量ともに期待通りになりませんでした。形はきれいに仕上がりました。カボチャは通常サイズのハロウィン用カボチャと、とても巨大に成長する「アトランティックジャイアント」です。「アトランティックジャイアント」の世界最大記録は約1190.5kg（ドイツ）と

驚異の1t超え、日本の最大は427.8kg（長野県）です。そこまで大きくなる品種ですが、我々が作るものは、大きくて50kgくらいです。もっと大いカボチャを子どもたちに提供し、喜んでもらえるよう日々研究していきたいです。

## 高橋部長のコメント

「今年も子どもたちに喜んでもらえたことはとても嬉しいです。今後もこのような活動を続けていけたらと思います。」



豊頃小学校



大津小学校・保育所



茂岩保育所



## 編集後記

ハロウィンの時期です。小学校、保育所に持っていくカボチャに顔を書く際、毎年同じような顔になってしまい、悩んでおります。来年に向け何かいいアイデアがあれば教えていただけると幸いです。お待ちしております。あ、ダイエットは…興味はないと思いますが勝手に次号で結果を発表したいと思います。

収穫シーズン終盤は、連日の作業による疲労の蓄積、予定外の雨による焦りなどからくる事故が増える時期です。農繁期だからこそ心にゆとりをもち、適度な休憩を心掛けながら作業を進めていただきたいと思います。

企画振興係 T.S

朝晩冷え込んできましたね。私はなかなかこたつから出られません。皆さんも暖かくして体調には十分息をつけて下さいね。

産業まつりでは、女性部の皆さんと出展しました。みなさんとお話ししながら楽しませていただきました。また、来年も楽しみです。

今年も残すところあと2か月となりました。残り2カ月も悔いの無いように楽しみます。10月号の取材に協力して下さった皆様ありがとうございました。

企画振興係 R.H